

第20回

生命倫理セミナー

2010年9月24日(金)18:30-20:00

本館臨床講堂

参加自由

大学院博士課程1・2年生必修科目

演者

鈴木 裕也

(埼玉社会保険病院 名誉院長)

「終末期医療と尊厳死」

厚生労働省、日本集中治療医学会、日本救急医学会などが終末期の医療に関する指針などをすでに公表しているが、そのような中で、昨年12月最高裁は川崎協同病院の医療事故に対し医師の殺人罪を結審した。その背景には臨床医であるならば今や必須の知識であるべき終末期・臨終・尊厳ある死などに関する無関心や教育不在がうかがわれる。過去および現代の事例を通して、近代医学の直面している問題について議論を深めたい。

センター長 鹿島晴雄

コーディネーター: 生理学教室 岡野ジェイムス洋尚
漢方医学センター 渡辺賢治

共催:

文部科学省「質の高い大学推進プログラム(質高GP)」

グローバルCOEプログラム

「幹細胞医学のための教育研究拠点」拠点リーダー
岡野栄之

「In vivo ヒト代謝システム生物学拠点」拠点リーダー

末松 誠

「地域躍動型専門医養成一貫教育プログラム」

問合せ先: 医学教育統轄センター事務局(内線: 64310)